

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	:	ノックスドールジンク スプレー
会社名	:	株式会社創新
住所	:	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	:	03-3918-3100
FAX番号	:	03-3918-3511
推奨用途	:	亜鉛塗料
使用上の制限	:	業務用使用に限定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	エアゾール	区分1
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器、消化管)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(聴覚器)
環境に対する有害性	水生環境有害性(短期間)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール
高压容器: 熱すると破裂のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
発がん性のおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、消化管の障害
長期にわたる、または反復ばく露による聴覚器の障害のおそれ
長期継続的影響により水生生物に強い毒性

注意書き

安全対策

子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水/(石鹼)で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

保管

日光から遮断し、40 °C 以上の温度にばく露しないこと。
 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

施錠して保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 成分

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
アセトン	20-25%	67-64-1	2-542	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
キシレン	5-8%	1330-20-7	3-3, 3-60	≥0.1%	≥0.1%	該当	非該当
エチルベンゼン	≤2.5%	100-41-4	3-28, 3-60	≥0.1%	≥0.1%	該当	非該当
水素処理軽質石油ナフサ	10-15%	64742-49-0	9-1694	≥1%	≥1%	非該当	非該当
亜鉛粉末	30-35%	7440-66-6	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
ブタン	20-25%	106-97-8	2-4	≥1%	≥1%	非該当	非該当
プロパン	3-5%	74-98-6	2-3	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、散水
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	加圧容器で、加熱すると爆発する可能性がある。
特有の消火方法	自給式呼吸器などの保護装置なしで火災現場に立ち入らないこと。 消火作業は可能な限り風上から行う。 危険な蒸気と分解生成物から安全な距離および安全な場所から消火する。 火災のそばの容器は移動或は水で冷却する。
消火を行う者の保護	消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

適切な吸着剤に吸着させ、あるいはスコップ等ですくい取り、適切な容器に回収する。

中和

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いには、換気の良い場所で行う。
皮膚・眼への接触を避ける。
40℃を超えた温度にさらさない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
日光から遮断すること。
施錠して訪韓する。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

安衛法	アセトン	500ppm
-----	------	--------

許容濃度		キシレン	50ppm	
		エチルベンゼン	20ppm	
許容濃度	日本産業衛生学会	アセトン	200ppm	
		ブタン	500ppm	
		キシレン	50ppm	
		エチルベンゼン	50ppm	
	ACGIH	アセトン	TWA 250ppm	STEL 500ppm
		ブタン	-	STEL 1000ppm
		キシレン	TWA 100ppm	STEL 150ppm
		エチルベンゼン	TWA 20ppm	

保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合は、フィルター付きの呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	直接接触や飛沫の恐れがある場合、保護手袋を使用する。バイトン製の保護手袋を推奨する。
眼の保護具	安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色など)	
物理的状態	エアゾール
色	薄灰色
臭い	溶剤臭
融点・凝固点	情報なし
沸点	<35°C
引火点	液体成分 -18°C/ 噴射剤 -104°C
比重	~1000kg/m ³ (20°C)
溶解度	
水	不溶
有機溶剤	有機溶剤に溶解
n-オクタノール/水分配係数	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常取り扱いでは安定。集中的な加熱、裸火着火源などを避ける。

化学的安定性

通常の手扱いは安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応は知られていない。

避けるべき条件

圧力容器は使用後も穴をあけたり、焼却しない。

混触危険物質

危険な反応は知られていない。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下のとおりである。

急性毒性

経口	アセトン	LD50	ラット	5000mg/kg
----	------	------	-----	-----------

	亜鉛粉末	LD50	ラット	>2000mg/kg
	水素処理軽質石油ナフサ	LD50	ラット	>5840mg/kg
	キシレン	LD50	ラット	1300mg/kg
経皮	アセトン	LD50	ウサギ	20000mg/kg
	水素処理軽質石油ナフサ	LD50	ラット	>2920mg/kg
吸入	アセトン	LC50	ラット	70mg/L/4h
	水素処理軽質石油ナフサ	LC50	ラット	>23.2mg/L/4h
	キシレン	LC50	ラット	6700ppm/4h
	エチルベンゼン	LC50	ラット	4000ppm/4h
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	キシレン	区分2		
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	キシレン	区分2		
呼吸器感受性		情報なし		
皮膚感受性		情報なし		
生殖細胞変異原性		情報なし		
発がん性	エチルベンゼン	区分2		
生殖毒性	キシレン	区分1B		
	エチルベンゼン	区分1B		
特定標的臓器毒性 単回ばく露	キシレン	区分1 (中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)		
		区分3(麻酔作用)		
	アセトン	区分3(気道刺激性、麻酔作用)		
	エチルベンゼン	区分1 (聴覚器、神経系)		
		区分3(気道刺激性、麻酔作用)		
特定標的臓器毒性 反復ばく露	ブタン、プロパン	区分3(麻酔作用)		
	キシレン	区分1 (呼吸器系、神経系)		
	アセトン	区分1 (中枢神経系、呼吸器、消化管)		
	ブタン	区分1 (中枢神経系)		
誤えん有害性	エチルベンゼン	区分1		

12. 環境影響情報

製品としての環境有害性情報はない、成分の環境有害性情報は以下のとおりである。

生体毒性

水生環境有害性(急性)

急性魚毒性	アセトン	LC50 635mg/L/96h
	亜鉛	LC50 0.116mg/L/96h
	キシレン	LC50 13.5mg/L/96h
ミジンコ遊泳阻害	アセトン	EC50 10mg/L/48h
	亜鉛	EC50 0.068mg/L/48h
	キシレン	EC50 3-5mg/L/24h

水生環境有害性(慢性)

残留性・分解性 :	キシレン	易分解性 (OECD 301C)
生体蓄積性 :	アセトン	BCF 0.69 (低濃縮性)
	亜鉛	BCF 92 (低濃縮性)
	キシレン	BCF 80 (低濃縮性)
土壌中の移動性 :		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

ノックスドールジंक スプレー

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送：	IMOの規定に従う。
国連番号	UN1950
品名(日本語名)	エアゾール
品名(英語名)	AEROSOLS
国連分類	2.1
副次危険性	なし
容器等級	-
海洋汚染物質	-
航空輸送：	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	UN1950
品名(日本語名)	エアゾール
品名(英語名)	AEROSOLS
国連分類	2.1
副次危険性	なし
容器等級	-

緊急時応急措置指針番号 (NAERG) 126

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
陸上規制性情報	消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	アセトン、キシレン、エチルベンゼン
化学物質排出管理促進法	第一種指定化学物質	キシレン(平均6.5%)、エチルベンゼン(平均1.3%)
労働安全衛生法	通知・表示義務物質	アセトン、キシレン、ブタン、石油ナフサ、エチルベンゼン
	有機則: 第2種有機溶剤等	アセトン、キシレン、
	有機則: 第3種有機溶剤等	石油ナフサ
	特化則: 第2類物質、特別有機溶剤等	エチルベンゼン
	特化則: 特別管理物質	エチルベンゼン
	がん原性に係る指針対象物質	エチルベンゼン
	皮膚等障害化学物質(令和6年度施行)	キシレン
	濃度基準設定物質	非該当
毒物及び劇物取締法		非該当
消防法	危険物第4類 第一石油類 非水溶性	危険等級 II

16. その他情報

Auson AB SDS 25.01.2021, Version 10

GHS政府分類

令和5年度施行化管法改訂に伴う見直し(非該当)
令和5年度及び令和6年度施行労働安全衛生法がん原性物質の該当確認(非該当)
令和6年度施行安衛法皮膚等障害化学物質規制に伴う見直し(該当)
令和6年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し(非該当)

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法(ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS))」に対応

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見直しを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。